

## 4 使用料、受益者負担金

### (1) 下水道使用料

- ① 有収水量と有収率の推移
- ② 下水道使用料の単価表
- ③ 下水道使用料調定

### (2) 下水道事業受益者負担金・分担金

- ① 受益者負担金・分担金の額
- ② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

### (3) 水洗化の促進

- ① 融資制度
- ② 融資の状況

### (4) 私道への公共下水道布設制度

## 4 使用料、受益者負担金

### (1) 下水道使用料

#### ① 有収水量と有収率の推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
汚水処理水量(千 m <sup>3</sup> )	26,309	28,030	29,774	28,631	27,001
有収水量(千 m <sup>3</sup> )	23,492	23,606	23,983	24,042	23,945
有収率(%)	89.3	84.2	80.6	84.0	88.7

#### ② 下水道使用料の単価表

(平成20年4月1日改定)

区 分	基本使用料 (1 か月につき)	従量使用料 (1 か月につき)	
		10 m <sup>3</sup> を超え 20 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 155 円
一 般 汚 水	10 m <sup>3</sup> まで 1,260 円	20 m <sup>3</sup> を超え 50 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 176 円
		50 m <sup>3</sup> を超え 100 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 196 円
		100 m <sup>3</sup> を超え 200 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 238 円
		200 m <sup>3</sup> を超え 300 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 270 円
		300 m <sup>3</sup> を超え 500 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 290 円
		500 m <sup>3</sup> を超え 1000 m <sup>3</sup> まで	1 m <sup>3</sup> につき 293 円
		1000 m <sup>3</sup> を超える分	1 m <sup>3</sup> につき 296 円
		公衆浴場汚水	10 m <sup>3</sup> まで 1,260 円

※ 消費税相当額を含まない

※ 従量使用料は、従量使用料欄の水量の区分に従い、使用水量をそれぞれの区分ごとに分割して算出した額の合計額とする

③ 下水道使用料調定

年月		内訳	調定	収入額	未収累計額
令和4年 4月	件数(件)	57,161	70	57,091	
	金額(円)	366,207,309	62,639	366,144,670	
5月	件数(件)	53,181	47,835	62,437	
	金額(円)	398,966,795	312,170,688	452,940,777	
6月	件数(件)	57,078	49,393	70,122	
	金額(円)	380,892,453	386,185,414	447,647,816	
7月	件数(件)	53,304	56,582	66,844	
	金額(円)	403,281,365	360,192,930	490,736,251	
8月	件数(件)	57,441	52,602	71,683	
	金額(円)	383,934,625	409,590,126	465,080,750	
9月	件数(件)	53,294	57,082	67,895	
	金額(円)	398,077,488	385,167,328	477,990,910	
10月	件数(件)	57,647	53,288	72,254	
	金額(円)	382,782,357	386,628,198	474,145,069	
11月	件数(件)	53,496	55,107	70,643	
	金額(円)	398,800,827	379,112,509	493,833,387	
12月	件数(件)	57,734	53,931	74,446	
	金額(円)	384,416,867	412,273,658	465,976,596	
令和5年 1月	件数(件)	53,439	58,842	69,043	
	金額(円)	406,057,827	380,558,952	491,475,471	
2月	件数(件)	57,845	51,636	75,252	
	金額(円)	388,051,938	378,908,355	500,619,054	
3月	件数(件)	54,896	58,262	71,886	
	金額(円)	391,085,124	409,787,558	481,916,620	
令和4年度	件数(件) (対前年度比%)	666,516 (101.8)	594,630 (101.8)	71,886 (102.3)	
	金額(円) (対前年度比%)	4,682,554,975 (100.0)	4,200,638,355 (100.0)	481,916,620 (99.6)	

令和3年度	件数(件) (対前年度比%)	654,605 (101.7)	584,330 (101.5)	70,275 (103.7)
	金額(円) (対前年度比%)	4,684,245,121 (100.7)	4,200,511,990 (100.8)	483,733,131 (99.7)
令和2年度	件数(件) (対前年度比%)	643,392 (101.7)	575,619 (102.0)	67,773 (99.3)
	金額(円) (対前年度比%)	4,653,883,782 (101.3)	4,168,455,481 (101.9)	485,428,301 (96.1)
令和元年度	件数(件) (対前年度比%)	632,542 (102.1)	564,263 (102.0)	68,279 (102.5)
	金額(円) (対前年度比%)	4,594,914,518 (100.9)	4,089,653,392 (100.8)	505,261,126 (101.9)
平成30年度	件数(件) (対前年度比%)	619,563 (102.5)	552,979 (102.5)	66,584 (102.4)
	金額(円) (対前年度比%)	4,554,860,270 (100.1)	4,058,936,023 (100.2)	495,924,247 (99.9)

※金額は消費税及び地方消費税を含む。

## (2) 下水道事業受益者負担金・分担金

「受益者負担金・分担金制度」は、下水道整備により利益を受ける地域の皆様に、土地の面積に応じて建設費用の一部を負担していただく制度です。

### ① 受益者負担金・分担金の額

下水道供用開始区域内の土地の面積に1㎡当たり171円を乗じて得た額

### ② 受益者負担金・分担金の調定・収納状況

・受益者負担金（旧久留米地域、三潴町、北野町 ※令和2年度以降は田主丸町、城島町含む）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和4年度	97,835,890	95,582,770	97.70
令和3年度	80,541,720	78,528,890	97.50
令和2年度	74,265,990	72,230,150	97.26
令和元年度	61,663,380	59,209,980	96.02
平成30年度	69,398,360	66,317,430	95.56

・受益者分担金（田主丸町、城島町 ※令和2年度以降は分割納付分のみ）

年度	調定額（円）	収納額（円）	収納率（%）
令和4年度	1,644,290	1,494,180	90.87
令和3年度	3,042,690	2,784,780	91.52
令和2年度	4,319,590	3,742,380	86.64
令和元年度	20,171,510	18,875,230	93.57
平成30年度	16,940,260	15,673,980	92.53

### (3) 水洗化の促進

#### ① 融資制度

水洗便所の改造工事に要する費用を一時に負担することが困難な方のために、融資あっせん制度を設けています。

- ・取扱金融機関
 

福岡銀行	福岡県信用組合	筑後信用金庫	
久留米市農業協同組合（JAくるめ）			
筑邦銀行	西日本シティ銀行	大川信用金庫	
にじ農業協同組合（JAにじ）	福岡大城農業協同組合（JA福岡大城）		
三潁町農業協同組合（JAみづま）	（※いずれも市内の本店及び各支店）		
- ・融資金額 13万円～52万円
- ・償還利率 年利1.20%（R4.4.1現在）
- ・償還方法 融資した日の属する月の翌月から毎月均等償還（元利均等償還）
- ・融資の条件
  - 家屋の所有者又はその所有者の同意を得た使用者であること
  - 市内に住所を有し、市内に住んでいる者であること
  - 独立の生計を営む者であること
  - 工事の費用を一時に負担することが困難な者であること
  - 借受けた資金の償還及び利息の支払能力を十分有すること
  - 市税及び下水道受益者負担金を滞納していないこと
  - 身元確実な連帯保証人があること（ただし、市内に住所を有し、独立の生計を営み、かつ、市税及び下水道受益者負担金を滞納していない者）
- ・利子補給 融資あっせん制度を利用した下水道接続工事について、元金と利息を完済後、利子の補給をいたします（元金52万円の利子額が上限となります）。

#### ② 融資の状況

（令和4年度末現在）

年度	融資件数(件)	融資金額(万円)	確認申請件数(件)	借受率(%)	平均融資金額(円)
令和4年度	8	350	1,744	0.5	437,500
令和3年度	6	294	1,880	0.3	490,000
令和2年度	14	700	1,627	0.9	500,000
令和元年度	13	618	1,817	0.7	475,385
平成30年度	15	682	1,917	0.8	454,667

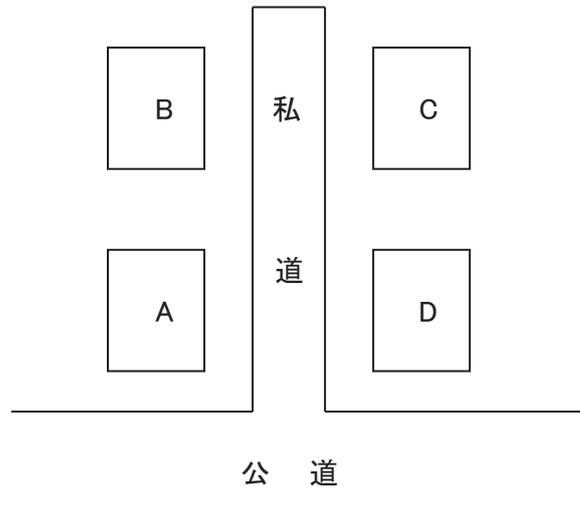
#### (4) 私道への公共下水道布設制度

私道に面する家屋の下水道利用を促進するため、私道関係者の申請に基づき、一定の要件を備えていれば、市が公共下水道を布設しています。

対象になる私道 生活道路として利用されている道路

- 主要要件
1. 道路の一端が公道に接していること
  2. 公道に面した家屋(A及びD)を除いて2戸以上あること。かつ、その家屋(B及びC)が同一人の所有に属さないこと
  3. 私道の所有者全員が公共下水道の布設を承諾していること

#### 【 イメージ図 】



#### 私道布設実績

(令和4年度末現在)

年度	私道布設件数	受益棟数
平成30年度以前	1,022	6,585
令和元年度	10	43
令和2年度	8	27
令和3年度	10	23
令和4年度	4	14
累計	1,054	6,692

## 5 経理統計

### (1) 決算状況

- ① 収益的収支年次表
- ② 資本的収支年次表
- ③ 資産・負債・資本対比表

### (2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

- ① 1 m<sup>3</sup>当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表
- ② 汚水処理原価構成表

### (3) 企業債借入残高状況

### (4) 経営分析表

### (5) キャッシュ・フロー計算書

## 5 経理統計

### (1) 決算状況

#### ① 収益的収支年次表

科目	年度および金額		令和元年度			
	平成30年度		金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)
下水道事業収益	6,566,138	100.0	7,038,493	100.0	107.2	7,350,879
営業収益	4,585,527	69.8	4,613,847	65.6	100.6	4,696,310
下水道収益	4,217,749	64.2	4,228,584	60.1	100.3	4,230,931
雨水処理負担金	255,059	3.9	273,360	3.9	107.2	297,096
その他営業収益	112,719	1.7	111,903	1.6	99.3	168,283
営業外収益	1,979,025	30.2	2,421,589	34.4	122.4	2,642,783
受取利息及び配当金	5	0.0	7	0.0	140.0	8
他会計補助金	609,778	9.3	600,577	8.5	98.5	576,640
長期前受金戻入	1,366,258	20.8	1,815,809	25.8	132.9	2,063,043
雑収益	2,984	0.1	5,196	0.1	174.1	3,092
特別利益	1,586	0.0	3,057	0.0	192.7	11,786
過年度損益修正益	405	0.0	227	0.0	56.0	8,937
その他特別利益	1,181	0.0	2,830	0.0	239.6	2,849
下水道事業費用	6,286,889	100.0	6,373,414	100.0	101.4	6,506,988
営業費用	5,331,230	84.8	5,461,201	85.7	102.4	5,542,326
管渠費	439,825	7.0	510,109	8.0	116.0	357,690
ポンプ場費	120,707	1.9	118,081	1.8	97.8	127,161
処理場費	914,439	14.5	947,197	14.9	103.6	978,186
雨水施設費	49,991	0.8	63,897	1.0	127.8	90,977
業務費	164,890	2.6	127,423	2.0	77.3	106,941
総係費	111,721	1.8	113,377	1.8	101.5	126,489
減価償却費	3,481,239	55.4	3,558,242	55.8	102.2	3,696,432
資産減耗費	48,418	0.8	22,875	0.4	47.2	58,450
営業外費用	952,261	15.1	902,124	14.2	94.7	843,621
支払利息及び企業債取扱諸費	940,921	14.9	889,565	14.0	94.5	827,207
雑支出	11,340	0.2	12,559	0.2	110.7	16,414
特別損失	3,398	0.1	10,089	0.1	296.9	121,041
固定資産売却損	—	—	—	—	—	—
過年度損益修正損	3,398	0.1	8,049	0.1	236.9	4,530
その他特別損失	—	—	2,040	0.0	皆増	116,511
純利益	279,249	—	665,079	—	238.2	843,891
当年度未処分利益剰余金	634,652	—	949,731	—	149.6	848,623

(消費税抜き)

令和2年度		令和3年度			令和4年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	104.4	7,368,452	100.0	100.2	7,410,764	100.0	100.6
63.9	101.8	4,783,557	65.0	101.9	4,695,282	63.3	98.2
57.6	100.1	4,258,522	57.8	100.7	4,256,984	57.4	100.0
4.0	108.7	388,426	5.3	130.7	333,703	4.5	85.9
2.3	150.4	136,609	1.9	81.2	104,595	1.4	76.6
36.0	109.1	2,574,957	34.9	97.4	2,700,074	36.5	104.9
0.0	114.3	—	—	皆減	—	—	—
7.9	96.0	455,355	6.2	79.0	506,222	6.9	111.2
28.1	113.6	2,116,640	28.7	102.6	2,189,789	29.5	103.5
0.0	59.5	2,962	0.0	95.8	4,063	0.1	137.2
0.1	385.5	9,938	0.1	84.3	15,408	0.2	155.0
0.1	3937.0	6,732	0.1	75.3	6,631	0.1	98.5
0.0	100.7	3,206	0.0	112.5	8,777	0.1	273.8
100.0	102.1	6,603,385	100.0	101.5	6,702,806	100.0	101.5
85.1	101.5	5,779,204	87.5	104.3	5,914,110	88.2	102.3
5.5	70.1	367,031	5.6	102.6	398,175	5.9	108.5
2.0	107.7	131,604	2.0	103.5	148,401	2.2	112.8
15.0	103.3	1,045,158	15.8	106.8	1,074,301	16.0	102.8
1.4	142.4	173,861	2.6	191.1	123,831	1.8	71.2
1.6	83.9	105,105	1.6	98.3	111,148	1.7	105.7
1.9	111.6	103,894	1.6	82.1	104,949	1.6	101.0
56.8	103.9	3,817,808	57.8	103.3	3,932,951	58.7	103.0
0.9	255.5	34,743	0.5	59.4	20,354	0.3	58.6
13.0	93.5	820,163	12.5	97.2	783,414	11.7	95.5
12.7	93.0	789,240	12.0	95.4	761,638	11.4	96.5
0.3	130.7	30,923	0.5	188.4	21,776	0.3	70.4
1.9	1199.7	4,018	0.0	3.3	5,282	0.1	131.5
—	—	27	0.0	皆増	—	—	皆減
0.1	56.3	3,267	0.0	72.1	4,740	0.1	145.1
1.8	5711.3	724	0.0	0.6	542	0.0	74.9
—	126.9	765,067	—	90.7	707,958	—	92.5
—	89.4	2,278,690	—	268.5	1,476,649	—	64.8

② 資本的収支年次表

年度および金額 区分	平成30年度		令和元年度			金額(千円)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	
収入合計	7,402,976	100.0	8,018,799	100.0	108.3	9,931,091
企業債	4,126,700	55.8	5,691,600	71.0	137.9	5,391,000
補助金	2,482,569	33.5	1,548,965	19.3	62.4	3,761,635
負担金	793,707	10.7	778,234	9.7	98.1	778,456
他会計からの長期借入金	-	-	-	-	-	-
固定資産売却代金	-	-	-	-	-	-
支出合計	9,846,643	100.0	12,178,441	100.0	123.7	9,522,091
建設改良費	6,306,461	64.0	8,561,177	70.3	135.8	5,935,848
企業債償還金	3,540,182	36.0	3,617,264	29.7	102.2	3,586,243
他会計からの 長期借入金償還金	-	-	-	-	-	-
前年度一時借入金(起債前借)	2,937,400		4,074,800		138.7	4,414,200
補てん財源	5,381,067	100.0	8,234,442	100.0	153.0	4,005,200
過年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額	-	-	-	-	-	-
当年度消費税及び地方消費 税資本的収支調整額	218,710	4.1	240,028	2.9	109.7	-
減債積立金	350,000	6.5	280,000	3.4	80.0	-
過年度分損益勘定留保資金	729,288	13.5	2,155,131	26.2	295.5	-
当年度分損益勘定留保資金	8,269	0.2	1,145,083	13.9	13,847.9	-
一時借入金(起債前借)	4,074,800	75.7	4,414,200	53.6	108.3	4,005,200

(消費税込み)

令和2年度		令和3年度			令和4年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	123.8	9,972,476	100.0	100.4	7,708,168	100.0	77.3
54.3	94.7	6,311,900	63.3	117.1	4,586,000	59.5	72.7
37.9	242.8	2,343,776	23.5	62.3	2,271,860	29.5	96.9
7.8	100.0	816,773	8.2	104.9	850,308	11.0	104.1
-	-	500,000	5.0	皆増	-	-	皆減
-	-	27	0.0	皆増	-	-	皆減
100.0	78.2	14,289,675	100.0	150.1	8,859,384	100.0	62.0
62.3	69.3	9,995,529	69.9	168.4	5,146,134	58.1	51.5
37.7	99.1	3,794,146	26.6	105.8	3,713,250	41.9	97.9
-	-	500,000	3.5	皆増	-	-	皆減
	108.3	4,005,200		90.7	3,302,100		82.4
100.0	48.6	8,322,399	100.0	207.8	4,453,316	100.0	53.5
-	-	104,000	1.3	皆増	-	-	皆減
-	皆減	293,138.0	3.5	皆増	-	-	皆減
-	皆減	1,510,000.0	18.1	皆増	760,000	17.1	50.3
-	皆減	2,304,864.0	27.7	皆増	-	-	皆減
-	皆減	808,297.0	9.7	皆増	-	-	皆減
100.0	90.7	3,302,100	39.7	82.4	3,693,316	82.9	111.8

③ 資産・負債・資本対比表

科目	年度および金額	平成30年度		令和元年度			
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)
資産合計		120,112,027	100.0	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516
資産の部		120,112,027	100.0	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516
固定資産		113,999,394	94.9	118,373,726	96.2	103.8	120,259,496
有形固定資産		113,999,394	94.9	118,373,726	96.2	103.8	120,259,496
土地		4,844,040	4.0	4,844,040	3.9	100.0	4,844,040
建物		5,225,594	4.4	5,022,021	4.1	96.1	4,814,970
構築物		96,019,144	80.0	99,370,834	80.8	103.5	100,586,059
機械及び装置		6,533,777	5.4	7,747,790	6.3	118.6	8,378,656
車両運搬具		79	0.0	79	0.0	100.0	79
工具器具及び備品		28,883	0.0	28,774	0.0	99.6	29,423
建設仮勘定		1,347,877	1.1	1,360,188	1.1	100.9	1,606,269
流動資産		6,112,633	5.1	4,666,512	3.8	76.3	7,662,020
現金及び預金		2,689,318	2.2	1,878,829	1.5	69.9	2,707,865
未収金		2,229,504	1.9	2,161,202	1.8	96.9	3,362,903
貸倒引当金		△ 21,019	△ 0.0	△ 19,456	△ 0.0	92.6	△ 18,279
貯蔵品		-	-	-	-	-	-
前払金		1,214,830	1.0	645,937	0.5	53.2	1,609,531
負債資本合計		120,112,027	100.0	123,040,238	100.0	102.4	127,921,516
負債の部		108,307,409	90.2	110,570,541	89.9	102.1	114,607,927
固定負債		57,196,553	47.6	59,327,310	48.2	103.7	60,443,850
企業債		56,596,789	47.1	58,701,887	47.7	103.7	60,298,741
他会計借入金		500,000	0.4	500,000	0.4	100.0	-
引当金		99,764	0.1	125,423	0.1	125.7	145,109
流動負債		10,751,873	9.0	10,451,089	8.5	97.2	11,098,647
一時借入金		4,074,800	3.4	4,414,200	3.6	108.3	4,356,600
企業債		3,617,006	3.1	3,586,243	2.9	99.1	3,794,146
他会計借入金		-	-	-	-	-	500,000
未払金		2,998,209	2.5	2,397,570	2.0	80.0	2,387,412
引当金		34,214	0.0	33,402	0.0	97.6	32,750
その他流動負債		27,644	0.0	19,674	0.0	71.2	27,739
繰延収益		40,358,983	33.6	40,792,142	33.2	101.1	43,065,430
長期前受金		38,752,879	32.3	40,036,118	32.6	103.3	40,540,394
建設仮勘定長期前受金		1,606,104	1.3	756,024	0.6	47.1	2,525,036
資本の部		11,804,618	9.8	12,469,697	10.1	105.6	13,313,589
資本金		8,796,344	7.3	9,146,344	7.4	104.0	9,426,344
資本金		8,796,344	7.3	9,146,344	7.4	104.0	9,426,344
剰余金		3,008,274	2.5	3,323,353	2.7	110.5	3,887,245
資本剰余金		2,373,622	2.0	2,373,622	1.9	100.0	2,373,622
受贈財産評価額		516,874	0.5	516,874	0.4	100.0	516,874
国県市補助金		1,856,748	1.5	1,856,748	1.5	100.0	1,856,748
利益剰余金		634,652	0.5	949,731	0.8	149.6	1,513,623
減債積立金		-	-	-	-	-	665,000.0
当年度未処分利益剰余金		634,652	0.5	949,731	0.8	149.6	848,623

(消費税抜き)

令和2年度		令和3年度			令和4年度		
構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)	金額(千円)	構成比(%)	対前年度比(%)
100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5
100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5
94.0	101.6	125,705,256	95.0	104.5	126,665,218	95.3	100.8
94.0	101.6	125,705,256	95.0	104.5	126,665,218	95.3	100.8
3.8	100.0	4,844,040	3.7	100.0	4,900,006	3.7	101.2
3.8	95.9	4,608,874	3.5	95.7	4,441,959	3.3	96.4
78.6	101.2	104,753,069	79.2	104.1	106,248,307	80.0	101.4
6.5	108.1	8,782,886	6.6	104.8	8,572,601	6.4	97.6
0.0	100.0	277	0.0	350.6	231	0.0	83.4
0.0	102.3	35,521	0.0	120.7	32,993	0.0	92.9
1.3	118.1	2,680,589	2.0	166.9	2,469,121	1.9	92.1
6.0	164.2	6,621,411	5.0	86.4	6,265,394	4.7	94.6
2.1	144.1	1,860,723	1.4	68.7	2,043,411	1.5	109.8
2.6	155.6	4,005,004	3.0	119.1	1,960,468	1.5	49.0
△ 0.0	94.0	△ 15,896	0.0	87.0	△ 15,987	0.0	100.6
-	-	2,300	0.0	皆増	2,630	0.0	114.3
1.3	249.2	769,280	0.6	47.8	2,274,872	1.7	295.7
100.0	104.0	132,326,667	100.0	103.4	132,930,612	100.0	100.5
89.6	103.7	118,248,011	89.4	103.2	118,143,997	88.9	99.9
47.2	101.9	63,558,322	48.1	105.2	64,512,873	48.6	101.5
47.1	102.7	62,897,493	47.6	104.3	63,828,544	48.1	101.5
-	皆減	500,000	0.4	皆増	500,000	0.4	100.0
0.1	115.7	160,829	0.1	110.8	184,329	0.1	114.6
8.7	106.2	10,674,594	8.0	96.2	8,740,891	6.5	81.9
3.4	98.7	3,302,100	2.5	75.8	3,747,100	2.8	113.5
3.0	105.8	3,713,147	2.8	97.9	3,654,846	2.7	98.4
0.4	皆増	-	-	皆減	-	-	-
1.9	99.6	3,592,456	2.7	150.5	1,278,767	1.0	35.6
0.0	98.0	32,092	0.0	98.0	31,036	0.0	96.7
0.0	141.0	34,799	0.0	125.5	29,142	0.0	83.7
33.7	105.6	44,015,095	33.3	102.2	44,890,233	33.8	102.0
31.7	101.3	42,173,295	31.9	104.0	42,685,014	32.1	101.2
2.0	334.0	1,841,800	1.4	72.9	2,205,219	1.7	119.7
10.4	106.8	14,078,656	10.6	105.7	14,786,615	11.1	105.0
7.4	103.1	9,426,344	7.1	100.0	10,936,344	8.2	116.0
7.4	103.1	9,426,344	7.1	100.0	10,936,344	8.2	116.0
3.0	117.0	4,652,312	3.5	119.7	3,850,271	2.9	82.8
1.8	100.0	2,373,622	1.8	100.0	2,373,622	1.8	100.0
0.4	100.0	516,874	0.4	100.0	516,874	0.4	100.0
1.4	100.0	1,856,748	1.4	100.0	1,856,748	1.4	100.0
1.2	159.4	2,278,690	1.7	150.5	1,476,649	1.1	64.8
0.5	皆増	-	-	皆減	-	-	-
0.7	89.4	2,278,690	1.7	268.5	1,476,649	1.1	64.8

## (2) 汚水処理原価・汚水処理原価分析

### ① 1㎡当たり使用料単価及び汚水処理原価内訳表

区分	年度	平成30年度			令和元年度		
有収水量		23,491,734 m <sup>3</sup>			23,606,196 m <sup>3</sup>		
使用料単価	下水道使用料	金額(千円)	構成比(%)	1㎡当り(円)	金額(千円)	構成比(%)	1㎡当り(円)
		4,217,749	100.0	179.54	4,228,584	100.0	179.13
汚水処理原価	管渠費	436,699	10.4	18.59	507,300	11.9	21.49
	ポンプ場費	116,666	2.8	4.97	112,447	2.7	4.76
	処理場費	900,018	21.5	38.31	925,865	21.8	39.22
	その他維持管理費	262,133	6.3	11.16	228,384	5.4	9.67
	支払利息等	757,713	18.1	32.25	709,486	16.7	30.06
	減価償却費	1,716,390	41.0	73.06	1,764,775	41.5	74.76
	計	4,189,619	100.0	178.34	4,248,257	100.0	179.96
	(参考) 分流式下水道に要する 経費控除前	4,678,484	-	199.15	4,723,371	-	200.09
使用料単価/汚水処理原価		1.007			0.995		

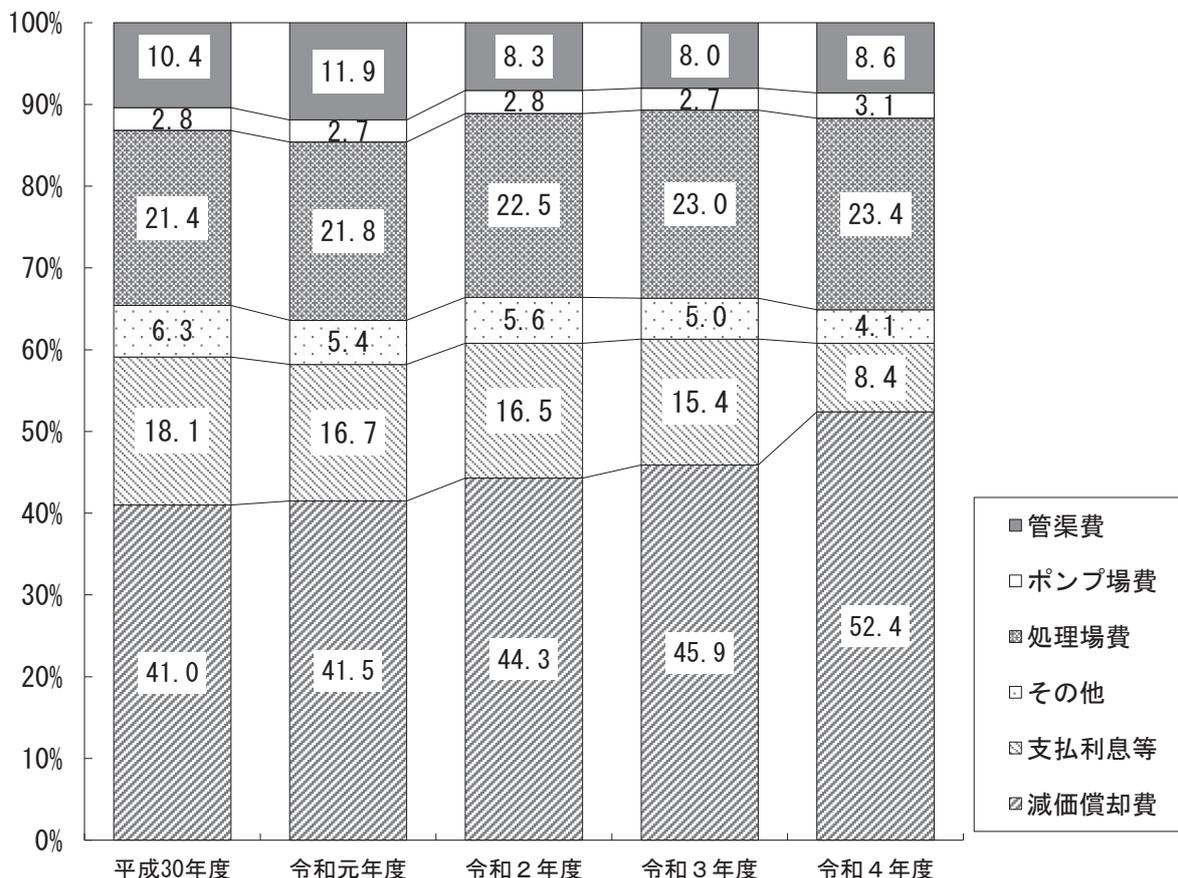
※1㎡当たり使用料単価＝下水道使用料÷有収水量

※1㎡当たり汚水処理原価＝{経常費用－(雨水処理経費)}÷有収水量

※減価償却費は、長期前受金戻入額を控除した額を計上

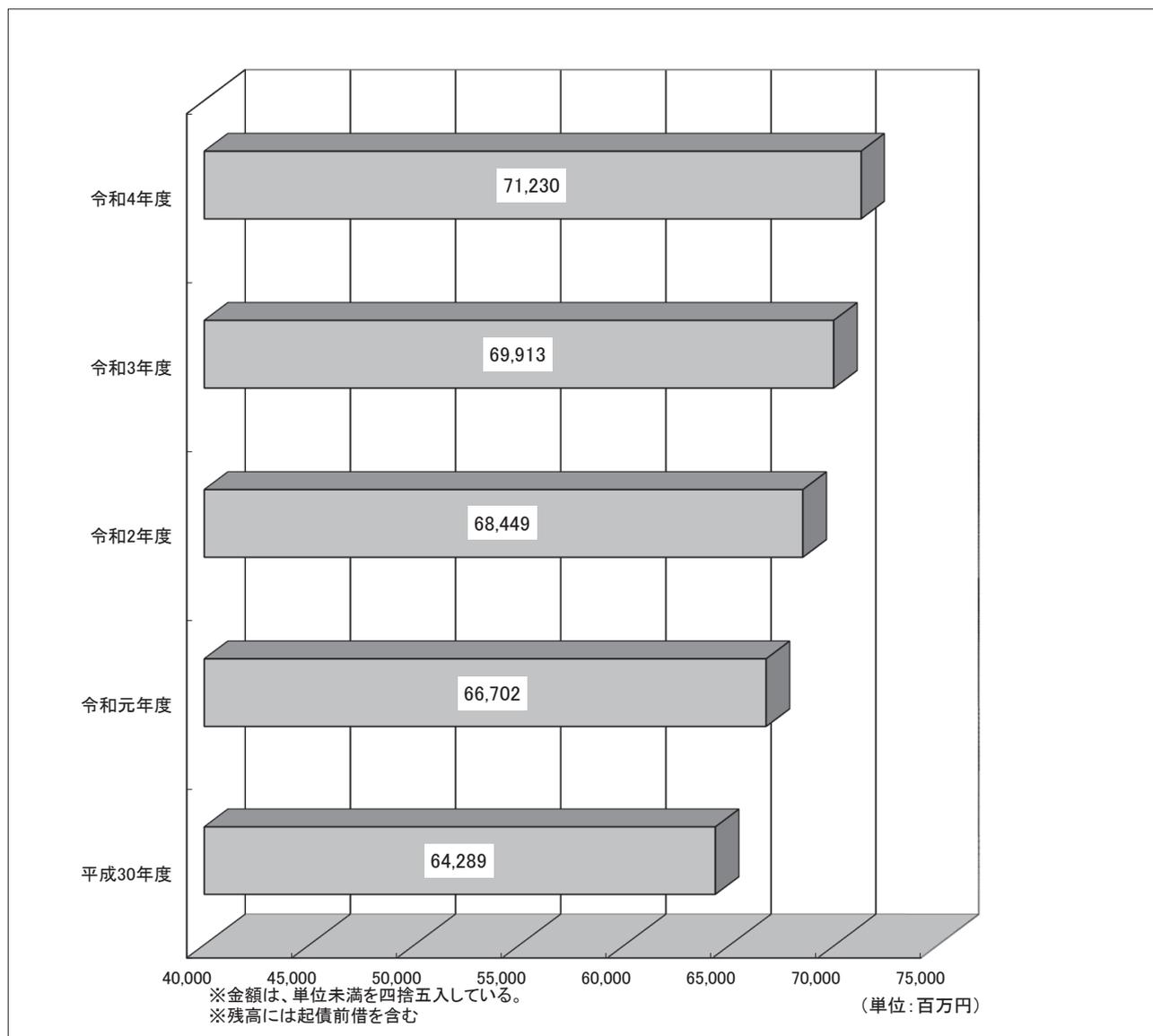
※下水道事業会計全体の単価・原価である

### ② 汚水処理原価構成表



令和2年度			令和3年度			令和4年度		
23,983,228 m <sup>3</sup>			24,042,195 m <sup>3</sup>			23,944,630 m <sup>3</sup>		
金額(千円)	構成比(%)	1 m <sup>3</sup> 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m <sup>3</sup> 当り (円)	金額(千円)	構成比(%)	1 m <sup>3</sup> 当り (円)
4,230,931	100.0	176.41	4,258,522	100.0	177.13	4,256,984	100.0	177.78
352,998	8.3	14.72	355,081	8.0	14.77	390,236	8.6	16.30
119,149	2.8	4.97	120,501	2.7	5.01	137,910	3.1	5.76
948,966	22.5	39.57	1,017,260	23.0	42.31	1,049,614	23.4	43.84
234,823	5.6	9.79	218,572	5.0	9.09	181,929	4.1	7.60
698,474	16.5	29.12	683,310	15.4	28.42	375,804	8.4	15.69
1,871,084	44.3	78.02	2,034,180	45.9	84.61	2,353,211	52.4	98.28
4,225,494	100.0	176.19	4,428,904	100.0	184.21	4,488,704	100.0	187.47
4,645,684	-	193.71	4,796,886	-	199.52	4,883,057	-	203.93
1.001			0.962			0.948		

### (3) 企業債借入残高状況



(4) 経営分析表

本市の下水道事業会計では、公共下水道(主に久留米、北野、三潞地区)と特定環境保全公共下水道(主に田主丸、城島地区)という二つの事業を実施してきたが、令和2年3月11日の下水道法事業計画の変更協議をもって、事業計画を変更し、市内全域が公共下水道となっている。

ここでは、公共下水道事業における主な指標を法適用の類似団体平均、全国平均とあわせて掲載している。

なお、統計の都合上、本市の指標は令和4年度、類似団体平均及び全国平均は令和3年度のものである。

項目	公共下水道					説明	分析
	すう勢比較			他市との比較(R3年度)			
	R2年度	R3年度	R4年度	類似団体	全国平均		
下水道普及率(%)  $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{行政区域内人口}}$	85.7	86.8	87.6	80.9	80.7	行政区域内人口に占める処理区域内人口の割合で、事業の整備状況を表すものである。	未普及地域の整備途上であり、年々微増している。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
進捗率(%)  $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{全体計画人口}}$	92.1	92.8	93.5	98.4	96.5	全体計画人口に占める処理区域内人口の割合で、全体計画に対する進捗状況を表すものである。	未普及地域の整備途上であり、類似団体や全国平均より低い数値となっているが、年々微増している。
処理区域内人口密度(人/ha)  $\frac{\text{現在処理区域内人口}}{\text{現在処理区域面積}}$	48.8	48.1	47.9	42.1	61.9	処理区域面積1haあたりの人口を表したものである。	行政区域内人口の減少や人口密度の低い地域の未普及整備等により、すう勢比較としては微減している。類似団体より高く、全国平均より低い数値となっている。
施設利用率(%)  $\frac{\text{現在晴天時平均処理水量(m}^3\text{/日)}}{\text{現在処理能力(晴天時)(m}^3\text{/日)}}$	62.4	61.3	60.1	67.9	62.4	現在晴天時平均処理水量を現在処理能力(晴天時)で除したもので、施設がどの程度利用されているのかを示す。	すう勢比較としては減少傾向にある。類似団体や全国平均より低い数値となっている。
有収率(%)  $\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間汚水処理水量}}$	80.6	84.0	88.7	69.8	72.9	処理した汚水のうち使用料徴収の対象となる有収水量の割合である。有収率が高いほど、使用料徴収の対象とならない不明水が少なく、効率的であるといえる。	汚水処理量は減少したが、有収水量が前年度とあまり変わらなかったため値が高くなっている。類似団体や全国平均より高い数値となっている。
水洗化率(%)  $\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}}$	88.2	87.8	87.8	94.4	95.9	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。	処理区域内人口の増加が水洗便所設置済人口の増加と同程度であったため、前年度と同じ値となっている。類似団体や全国平均より低い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R3年度)			
	R2年度	R3年度	R4年度	類似団体	全国平均		
使用料単価(円/㎡) 使用料収入 年間有収水量	176.4	177.1	177.8	158.1	133.8	有収水量1㎡あたりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。	すう勢比較としては有収率と連動した動きになっており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
汚水処理原価(円) 汚水処理費 年間有収水量	178.7	177.7	178.7	157.6	133.4	有収水量1㎡あたりの汚水処理費であり、その水準を示す。 汚水処理費は、維持管理費と資本費に分けられる。 維持管理費は、日常の下水道施設の維持管理に要する経費であり、具体的には、人件費、動力費、薬品費、施設補修費、管渠清掃費等によって構成される。 資本費は、減価償却費、企業債利息(一時借入金利息は除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額である。	令和4年度の汚水処理原価はわずかに増加している。 年間有収水量が前年比で減少した中、汚水処理費(資本費)は減少しているものの、汚水処理費(維持管理費)が増加し、汚水処理原価(維持管理費)が増加したことが要因となっている。 いずれも、類似団体や全国平均より高い水準となっている。
汚水処理原価(維持管理費)(円/㎡) 汚水処理費(維持管理費) 年間有収水量	69.05	71.18	73.49	75.9	70.9		
汚水処理原価(資本費)(円/㎡) 汚水処理費(資本費) 年間有収水量	109.6	106.5	105.2	81.7	62.5		
経費回収率(%) 使用料収入 汚水処理費	98.73	99.66	99.49	100.32	100.35	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す。下水道の経営は、経費の負担区分を踏まえて汚水処理費全てを使用料によってまかなうことが原則であるといわれる。 よって経費回収率は、下水道事業の経営を最も端的に表している指標といえる。	
経費回収率(維持管理費)(%) 使用料収入 汚水処理費(維持管理費)	255.5	248.8	241.9	208.3	188.9		
処理人口1人あたりの維持管理費(汚水分)(円/人) 維持管理費(汚水分) 現在処理区域内人口	6,358	6,523	6,660	7,996	7,641	現在処理区域内人口1人あたりにかかる維持管理費であり、効率的な維持管理の状況を見るものである。 維持管理費には、管渠、ポンプ場、処理場及びその他の費用全てが含まれる。	令和3年度に比べて増加したが、類似団体や全国平均より低い数値となっている。
処理人口1人あたりの資本費(汚水分)(円/人) 資本費(汚水分) 現在処理区域内人口	10,095	9,763	9,534	8,605	6,740	現在処理区域内人口1人あたりにかかる資本費である。なお、この場合の資本費とは、減価償却費と企業債利息等である。	未普及整備に伴う減価償却費が増加しているものの、処理区域内人口も増加しているため、値は減少している。 類似団体や全国平均より高額となっている。
処理人口1人あたりの管理運営費(汚水分)(円/人) 管理運営費(汚水分) 現在処理区域内人口	16,453	16,286	16,193	16,601	14,382	現在処理区域内人口1人あたりにかかる管理運営費である。この場合の管理運営費とは、維持管理費と資本費を合計したものである。	すう勢比較としては減少傾向である。類似団体とは同水準、全国平均より高い数値となっている。

項 目	公共下水道					説 明	分 析
	すう勢比較			他市との比較(R3年度)			
	R2年度	R3年度	R4年度	類似団体	全国平均		
総収支比率(%)						総収益と総費用の比率を表したものである。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要である。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
総収益	113.0	111.6	110.6	109.6	107.1		
総費用							
経常収支比率(%)						使用料収入等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを示すものである。比率が高いほど良い。	すう勢としては110%以上で推移しており、類似団体や全国平均より、高い数値となっている。
経常収益	114.9	111.5	110.4	109.3	107.0		
経常費用							
流動比率(%)						短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。一般的に100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えていないことを意味する。	下水道事業は、建設投資の財源の多くを企業債によって調達しており、流動負債における企業債償還金の額が大きく比率は低くなる傾向にある。類似団体よりも高く、全国平均とは同水準となっている。
流動資産	69.0	62.0	71.7	63.5	71.4		
流動負債							
利子負担率(%)						有利子の負債に対する支払利息の割合であり、外部利子の平均利率を表す。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。	すう勢比較では微減であり、類似団体や全国平均よりも低い数値である。
支払利息+企業債取扱諸費	1.2	1.2	1.1	1.4	1.4		
企業債+長期借入金+一時借入金							
自己資本構成比率(%)						総資本に占める自己資本の割合であり、財政状態の長期的な安全性を見る指標である。	前年度よりわずかに増加している。類似団体や全国平均よりも低い数値となっている。
自己資本金+剰余金	44.1	43.9	44.9	59.0	62.9		
+評価差額等+繰延収益							
負債・資本合計							
固定資産対長期資本比率(%)						自己資本構成比率と同じく、事業の固定的・長期的安全性を見る指標で、資金が長期的に拘束される固定資産が、どの程度自己資本や長期借入金によって調達されているかを示す。	前年度よりわずかに減少している。類似団体や全国平均と同様の水準にある。
固定資産	102.9	103.3	102.0	101.7	101.3		
固定負債+資本金+剰余金							
+評価差額等+繰延収益							
処理区域内人口1人あたりの企業債現在高(千円/人)						企業債現在高を処理区域内人口で除したものである。	未普及整備や浸水対策に投資しており、企業債残高は増加傾向となっている。類型他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高	263	266	270	217	181		
現在処理区域内人口							
企業債残高対事業規模比率(%)						使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	未普及地域の整備途上にあり、企業債残高は増加傾向となっている。類型他市や全国平均より高い数値となっている。
企業債現在高—一般会計負担額	1,156.9	1,151.8	1,175.4	874.0	668.5		
営業収益—受託工事収益							
—雨水処理負担金							

※この表における類似団体は、以下をすべて満たすものである  
(公共下水道)

- ・地方公営企業法適用団体
- ・処理区域内人口100千人以上
- ・処理区域内人口密度が1haあたり50人未満

## (5) キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	707,959
減価償却費	3,932,951
退職給付引当金の増加額	23,500
賞与引当金の減少額	△ 1,056
貸倒引当金の増加額	92
長期前受金戻入額	△ 2,189,789
支払利息及び企業債取扱諸費	761,639
固定資産除却損	20,354
未収金の減少額	706,676
貯蔵品の増加額	△ 330
未払金の減少額	△ 2,222
預り金の減少額	△ 5,657
小計	3,954,117
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 761,639
業務活動によるキャッシュ・フロー	<u>3,192,478</u>
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 8,525,343
国庫補助金等による収入	3,696,101
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 4,829,242</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	2,700,000
一時借入金の返済による支出	△ 2,700,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,104,500
その他の企業債による収入	179,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,177,844
その他の企業債の償還による支出	△ 535,406
企業債前借による収入	3,747,100
他会計からの繰入による収入	501,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>1,819,452</u>
資金増加額(又は減少額)	182,688
資金期首残高	<u>1,860,723</u>
資金期末残高	2,043,411

## キャッシュ・フロー計算書について

キャッシュ・フロー計算書とは、企業の資金の流れを表示する財務諸表です。企業が営業活動で、どれだけの現金を稼ぎ出し、施設整備への投資や借入金の返済にどれだけ現金を使っているかを示すもので、「業務活動」、「投資活動」、「財務活動」の3つに区分しています。

## キャッシュ・フロー計算書の区分について

キャッシュ・フロー計算書には、ⅠからⅢまでの三つの区分があります。

### Ⅰ「業務活動によるキャッシュ・フロー」

主たる営業活動からどの位資金を獲得したかを示すもので、通常、これにより獲得した資金が投資活動に使われます。

### Ⅱ「投資活動によるキャッシュ・フロー」

施設整備拡充等の投資活動における資金の流れを示すものです。

### Ⅲ「財務活動によるキャッシュ・フロー」

営業及び投資活動を維持するために、どの程度資金が調達または返済されたかを示すものです。

## 令和4年度キャッシュ・フローについて

### 【業務活動での収支】

業務キャッシュ・フローでは、純利益 707,959 千円、損益勘定留保資金である減価償却費 3,932,950 千円の発生が、資金の主な増加要因となっています。

一方、長期前受金戻入の発生額 2,189,789 千円、利息の支払額 761,639 千円が資金の主な減少要因となっています。

この結果、業務活動によるキャッシュ・フローは 3,192,478 千円となっています。

### 【投資活動での収支】

投資キャッシュ・フローでは、工事に係る補助金等の収入 3,696,101 千円が資金の増加要因となっています。

一方、有形固定資産の取得による支出 8,525,343 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△4,829,242 千円となっています。

### 【財務活動での収支】

財務キャッシュ・フローは、企業債（起債前借含む）の借入れ 5,031,000 千円が資金の主な増加要因であり、企業債の償還 3,713,250 千円が資金の減少要因となっています。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは 1,819,452 千円となっています。

以上により、令和4年度における、期中の現金及び現金同等物の増減額は 182,688 千円のプラスとなりました。